

グループホーム光風 地域連携推進会議

令和7年12月5日 13：30～

於 グループホーム光風

社会福祉法人 七穂会



本日の流れ

会議の内容

①自己紹介

②運営状況の説明

利用者の状況（定員・料金等）

利用者の生活について

利用者の障害特性について

組織体系（職員配置）

③事業内容（サービスの透明性・質の確保・権利擁護）

令和7年度事業計画

災害時の対応 BCP（業務継続計画）の策定状況について

④「グループホーム光風」見学



グループホーム光風 概要



令和2年4月
外部サービス利用型
グループホーム開設
(バックアップ施設
すばるワークセンター)
阿賀野市より旧教員住宅の無償譲渡（土地
は借用）を受ける





グループホーム光風 概要

(1) 利用定員 10 人

(2) 対象者

- ①主たる障害が知的障がいであること
- ②身の回りのことがおおむね自立していること
- ③他利用者と協調して共同生活を営めること
- ④阿賀野市から受給者証が発行されていること

(ただし、定員に満たない場合は市外の方も可)



グループホーム光風 概要

定員 10 名		年齢区分					
入居者	10名	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71以上
男 性	8名	1	4		2	1	
女 性	2名					1	1
平均年齢	47.1歳						

令和 7 年 1 2 月 1 日現在



グループホーム光風 概要

利用者の生活について

平日

6 : 00	起床
7 : 00	身支度・朝食・出勤準備
7 : 40~8 : 00	出勤
16 : 15~	帰宅
17 : 00~ 19 : 00	入浴・夕食・洗濯等
19 : 00~	自由時間
22 : 00	就寝



就労継続支援B型事業所
・ゆうきの里
・ワークショップ大和
・すばる

休日

6 : 00	起床
7 : 00	身支度・朝食
8 : 00	自由時間（外出等）
12 : 00~	昼食
13 : 00~17 : 00	自由時間（外出等）
17 : 00~19 : 00	入浴・夕食・洗濯等
19 : 00~	自由時間
22 : 00	就寝



グループホーム光風 概要

利用者の特性について

知的に障がいのある方 10 名

- ・ 自閉症スペクトラム 1 名
- ・ ダウン症 1 名
- ・ 難病指定（潰瘍性大腸炎） 1 名



グループホーム光風 概要

地域交流及びレクレーション

- ・ クリーン作戦 4 月（缶拾い）利用者 4 名 世話人 1 名
- ・ 祭り前草取り 6 月（草取り）利用者 1 名 世話人 1 名
- ・ 外 食
- ・ 買い物



組織体系図 及び 世話人の役割

世話人

心得：管理性の排除、保護的・指導的にならないこと、プライバシーの確保などに十分配慮し、共同生活・地域生活が円滑に営めるように支援する。

業務1：食事の提供

- ・朝夕の食事提供・共用スペースの管理、

業務2：金銭管理

- ・食材費、日用品費などの管理・支払い

業務3：健康管理と疾病への対応

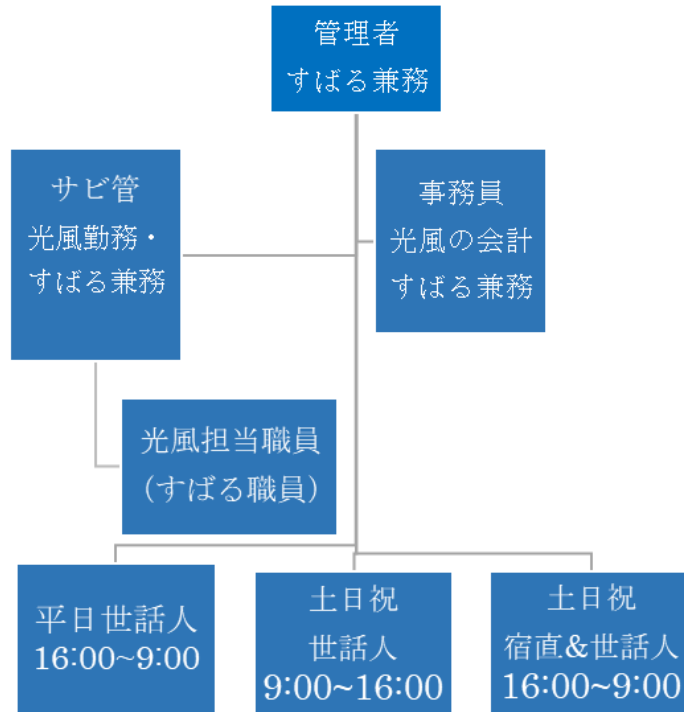
- ・服薬、受診等の助言・朝夕の健康観察

業務4：サービス管理者への連絡等

- ・職場や交友関係・精神的・就労生活等のトラブル
- ・余暇利用への助言・地域との交流

業務5：記録の整備と活用

- ・食材費、及び日用品費の出納簿・献立の記録・日常生活の記録・利用状況（食事・外泊）の記録
- ・利用状況（食事・外泊）の記録





グループホーム光風 概要（生活費収支）

内 訳	金 額
家賃	25,000円（家賃補助10,000円含む）
水道光熱費	18,000円
日用品費	2,000円
食費	20,000円
合計	65,000円（実費負担額 55,000円）

令和6年度 グループホーム光風決算書											
〈収入の部〉						〈支出の部〉					
科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (A) - (B)			科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (A) - (B)		
利用者負担金 (家賃除く)	4,800,000	4,800,000	0			日用品費	240,000	223,798	16,202		
収入合計	4,800,000	4,800,000	0			水道光熱費	2,160,000	1,590,797	569,203		
						食費	2,400,000	1,760,545	639,455		
						小計	4,800,000	3,575,140	1,224,860		
						余剰金返金		1,224,860			
						支出合計	4,800,000	4,800,000			



概要質疑

- ① グループホーム光風の概要 (定員・料金体系)
- ② 利用者の生活について
- ③ 組織体系について



事業内容

スローガン

「今日の充実 明日への希望」

- ・利用者の権利擁護
- ・安全の確保
- ・プライバシーの保護
- ・社会参加の支援
- ・自己決定の尊重



事業内容

◎月2回すばるの職員が定期的に訪問
(その他必要に応じ随時訪問あり)

◎2か月に1回担当者会議
(サビ管・GH担当職員・世話人)



事業内容

- ◎虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会
セルフチェックの活用
研修会の実施
- ◎支援の質向上のための取り組み
研修会の実施



災害時の対応

設置設備及び備品

スプリンクラー

消防通報システム

アルソック新潟警備保障

避難用ヘルメット



災害時の対応

- ・ハザードマップの整備（地震・水害）
- ・感染症対策マニュアルの整備
- ・BCP（業務継続計画）策定
- ・避難訓練の実施（年2回）



災害時の対応 (備蓄品)

食品

- 精白米 10Kg
- レトルトカレー 30食
- 飲料水 2ℓ 20本

その他

- カセットコンロ 1台
- カセットボンベ 6本
- 消耗品・衛生品
- 使い捨てスプーン 50本
- 割り箸 50膳
- 紙コップ 50個
- 使い捨て容器 50枚
- 使い捨て手袋 50枚
- マスク 50枚
- 消毒用エタノール 2ℓ



災害時の対応 感染症対策

感染対策マニュアル（平常時）

○日常生活の中での感染予防について

<日常的に行っている対策>

①利用者の体調確認（すばる・光風）

風邪症状の有無の確認、コミュニケーションの様子、検温等

②手洗いの励行の呼びかけ（すばる・光風）

外出後、食事前等、習慣としての手洗いの呼びかけ

③手指消毒用のアルコールの設置（すばる・光風）

消毒容器の設置、アルコールの補充

④来所者の検温（すばる・光風）

来所者記入用の名簿、非接触型体温計の用意

⑤食事時の席間隔の確保（すばる）

密にならぬよう、食事の際の席の間隔を確保する。食堂と第一作業室に分かれる。

⑥送迎車両のアルコール消毒の実施（すばる）※感染症流行期

各車両ごとの消毒用アルコールとペーパータオルを玄関スリッパ棚上に用意しておく。

⑦感染症流行時のボランティアの受け入れ停止（すばる）

感染症流行状況を確認し、流行時はお便り等で受け入れ停止中を周知する。

⑧個室での食事、共有スペース使用時間の最小化（光風）※発生時も同様

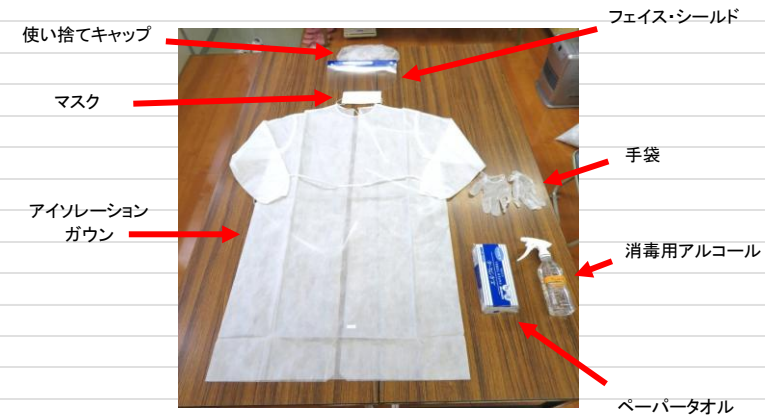
感染症流行状況を確認し、流行時は館内での利用者同士の接触を最小限にする。

感染対策マニュアル（発生時）

○消毒・検査等、感染リスクの高い場面での感染対策

<装備品・準備品>

実際に対応をする前に、感染予防のための適切な装備を着用しましょう。



①着衣手順

安全な場所で、マスク→ガウン→フェイス・シールド→キャップ→手袋の順に着用します。

着用後は、鏡や他職員に確認してもらい、露出が無いか確認してください。

②脱衣手順

手袋を外し、手指消毒をしてからガウン→キャップ→フェイス・シールドの順に外し、再度手指消毒を行います。脱衣後、マスクも新しいものに変えます。

外した防護具は、蓋つきのゴミ箱やゴミ袋に入れ閉じるなどし、感染リスクを生じさせないように留意しましょう。



災害時の対応 質疑

①地震発生時

②火災発生時

③感染症発生時（ノロウィルス・新興感染症他）

④その他



memo



memo



memo



memo



memo